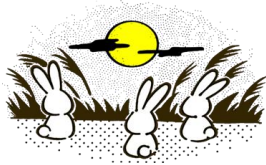


富陽っ子のよりよい成長をめざして

～前期学校評価結果の分析と今後の方策～



野々市市立富陽小学校
校長 古村 充

残暑厳しい折、保護者のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃よりPTA 活動にご協力いただいておりますことに深く感謝いたします。

さて、1学期末にお寄せいただいた学校評価アンケートの結果とその分析、今後の方策についてお知らせいたします。

【肯定的評価の見方】 A評価「できている(よくそう思う)」 B評価「どちらかといえばできている(だいたいそう思う)」

	評価項目	目標値	児童	保護者	昨年度 前期比
			A+B 評価	(A 評価)	
1	自分にも友達にも良いところがあると思いますか。	95%	98.2% (81.7%)	—	+0.8
2	ものごとを最後までやりぬこうと粘り強く取り組んでいますか。	95%	93.5% (63.0%)	—	新規
3	学校が楽しいですか。	95%	92.6% (66.7%)	—	-1.4
4	おたよりやホームページ、学校公開や授業参観などを通して、学校の様子が分かりますか。	90%	—	96.6% (47.3%)	+11.2
5	授業でクロームブックを使って調べたりまとめたりすることができましたか。	95%	95.4% (65.0%)	—	-3.7
6	低学年：考えのわけを入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	88.2% (58.5%)	—	-3.3
	中学年：考えのわけか根拠を入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	85.1% (30.2%)	—	-3.4
	高学年：考えのわけと根拠を入れて書いたり話し合ったりすることができましたか。	90%	86.2% (37.9%)	—	+3.4
7	相手を見て自分からあいさつや会釈ができましたか。	90%	91.2% (60.3%)	—	-2.1
8	子ども達の手本となるようなあいさつを、子どもや地域住民、見守り隊の方にしていますか。	90%	—	95.2% (40.5%)	+5.0
9	困りごとや不安がある時に、自分から解決しようとしたり先生や学校にいる大人に相談したりすることができましたか。	90%	81.7% (43.7%)	—	新規
10	クラスの係や当番、委員会などの仕事に自分から進んで取り組み、「自分は頑張ることができた」と思いましたか。	95%	94.3% (68.6%)	—	-0.5
11	体育の授業で、怪我をしないように気を付けながら積極的に体を動かすことができましたか。	95%	96.2% (77.2%)	—	+1.0

【昨年度前期比較】

5%以上プラス・100%維持

2%以上～5%未満上回る

差が2%未満

2%以上～5%未満マイナス

5%以上マイナス

「学校は楽しいですか」「やりぬこうと粘り強く取り組んでいますか」 「自分にも友達にも良いところがあると思いますか」について

昨年度より、本校では教職員が一丸となって「みんなを幸せにする」「みんなで幸せになる」を重点目標に掲げ、教育活動に取り組んでおります。その中で、児童の「自分にも友達にも良いところがある」の項目は、目標値を上回る高い結果となりました。

すべての児童が、友達との関わりや困難なことにも粘り強く挑戦する中で、心の「幸せ」や「強さ」を育むために、後期も引き続き児童の思いや困り感に寄り添いながら、児童一人一人のよさをひきだす教育活動に教職員全員で努めて参ります。そして、学校ホームページや学校連絡メールを今後さらに活用し、学校の取組の様子やお知らせを日々積極的に発信していきます。(なお、児童の活動写真につきましては、個人情報保護のため個人が特定できないように編集して掲載しているをご理解ください。)

学習面について

児童の「授業でクロームブックを使って調べたりまとめたりすることができましたか」の項目は、目標値を上回りました。昨年度より数値は下がりましたが、児童は授業だけではなく、委員会・クラブなどでも自分たちで判断して積極的にクロームブックを活用しています。後期も引き続き、一人一台端末を使う良さを児童が実感できる授業づくりに全学年で努めて参ります。

「考えを表現すること」については、まだ目標値を下回っています。しかし、高学年は昨年度より数値を伸ばしています。後期は高学年の姿をお手本として、理由や根拠をより意識して表現することができるように、「〇〇だと思います。どうしてかということ…からです。」などの考え方モデルを提示したり、「どうしてそう考えたのかな?」と問い返したりし、児童の思考力・表現力を高めていきます。

生活面について

児童の「相手を見て自分からあいさつや会釈ができる」と、保護者の「子どもたちの手本になるようなあいさつを、子どもや地域住民、見守り隊の方にしている」の項目は、目標値をどちらも上回る結果となりました。

学校では、「相手の目を見て、相手に届く声」で「自分から」あいさつすることに粘り強く取り組みます。また、時・場所・相手に応じて「声を出すあいさつ」「静かに会釈するあいさつ」「相手の名前を入れたあいさつ」ができることも日頃から大切にします。

「困りごとや不安がある時に、自分から解決しようとしたり先生や学校にいる大人に相談したりすることができましたか」の項目は、目標値を下回りました。児童から相談を受けたら、自分から相談できたことを大いに認め、思いを受けとめながら丁寧な対応を心がけます。そして、どの児童にも「自分から相談してよかった」という経験を積ませていきます。

学級活動・児童会活動について

児童の「自分は頑張ることができた」の項目は、目標値を若干下回るものの昨年度前期とほぼ変わらず高い数値を維持した結果となりました。

学級活動や児童会活動では、結果だけではなく努力の過程を大いに認める言葉かけを継続して行います。また、言われてうれしくなる「あったか言葉」について話し合う場を全学級で設定します。そして、校内掲示板を活用し、自己有用感や自己肯定感につながる言葉を価値付け全校に広めていきます。

運動について

児童の「体育の授業で、怪我をしないように気を付けながら積極的に体を動かすことができた」の項目は、昨年度前期に引き続き目標値を上回る結果となりました。

今後も体育施設や用具の点検や整理を毎月定期的に行い、日々の授業では、主運動につながる準備運動を行いながら児童が安全に活動できるようにします。また、石川県教育委員会が企画・運営している「スポチャレいしかわ」の40mリレーや8の字跳びに全学級が参加し、学級で目標をもたせ意欲を喚起しながら積極的に体を動かせるようにします。

保護者及び地域の皆様、今後とも本校の教育活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。